

に数学科の指導を行なうかについてのべている。

只見中学校、渡辺一郎教諭から、小地域における小・中学校の学力の関連について、中学 1年生の生徒に対して学力調査を行ない、各分校ごとの学力、知能と学力の関係をいろいろな調査から明らかにしている。この会場は、今年度の 3つの会場のうち、全体的にみて最も充実していた。

b. 中通り方部

(1) 会場 田村郡船引町中山小学校
同 移中学校

(2) 研究主題

小規模学校における学力向上をはかるために、学習指導はどのようにすればよいか。

◎国語、算数(数学)の指導をどのようにすればよいかという研究主題を中心にして 1か年間研究を続けた。その結果について発表された。

(3) 研究発表の実際

船引中学校加藤邦明教諭は、視聴覚、施設、設備の活用について自作掛図のあり方とその活用、映画の利用、ラジオ、テレビの利用等について実践の結果を具体的に発表された。なお、この会場における 3つの分科会における研究発表は次の通りである。

◎第 1分科会

視聴覚教具の活用

安達郡白岩小学校稲沢分校 坂本富雄

西白河郡小田倉小学校台上分校 熊谷一男

◎第 2分科会

山村における国語の学力を向上させるためにどのようにすればよいか、を中心的な研究題目として取りくまれた。即ち、

山村における生活指導と学習指導の結びつきについて
安積郡湖南村月形小学校舟津分校 先崎 泰
複式学級における国語科指導について

東白川郡鮫川村青生野中学校 藤田 佳男
ひらがなの読みの指導をこのようにした。

東白川郡古殿町論田小学校 鈴木 綾子
この分科会の研究発表も、山村の子どもの国語の学力を調査しながら、語いの調査、発音の矯正など具体的に児童のつまずきをとらえて指導している。

◎第 3分科会

山村における算数、数学の学力を向上させるには、どうすればよいか、を中心的な研究題目として研究を発表している。即ち、

1, 2学年における算数科指導の実際について

田村郡三春町要田小学校 大竹 茂義
複式学級における算数の導入について

福島市山内小学校 赤間 セツ
複式学級における自主的学習の系統的指導について

須賀川市小塩江小学校東山分校 関口 孝照
この分科会の発表で、赤間セツ教諭が自分の学級における複式指導の実際を録音テープにおさめて、それを持参して、研究を発表しておられたが、まことにすばらし

い着想であった。なお、この会場における全体会のパネル討議の中で、婦人代表の方が母として、子どもの家庭学習をどのように見てやっているかという体験談を発表しておられたが多くの人に深い感銘を与えた。

c. 浜通り方部(伊達を含む)

(1) 会場 相馬市山上小学校予井塚分校(第 1日)
相馬市原釜青年の家 (第 2日)

(2) 研究主題

小規模学校における学力向上をはかるために、学習指導はどのようにすればよいか。

◎国語科の授業で複式の指導は、どのようにすればよいか。

◎社会科の授業で複式の指導は、どのようにすればよいか。

◎農山村の児童、生徒の生活指導をどのようにすればよいか。

(3) 研究発表の実際

中井塚分校というのは、おかれている地域はバス道路の沿線にあって交通の便がきわめてよろしいが児童の家庭の経済状況は悪く、親の教育的関心はまことに薄い。したがって子どもの学力も低い。そうした条件のなかで、どのようにして学力を高めるかという苦心を重ねている。このことについて山上小学校石橋仁校長が、学力の低い原因を調査し、それに対してとった向上の対策はまことに適切で追力のあった発表であった。この会場における研究発表の概要は次のとおりである。

◎第 1分科会

3, 4学年における読解指導について

相馬市山上小学校中井塚分校 渡辺 堅次
複式学級における国語指導について

伊達郡霊山町石田小学校坂上分校 馬場 善正
山村における児童の入門期の読書指導について

石城郡入道野小学校 大内 好茂

この分科会で渡辺堅次氏の研究は、3, 4学年の児童に同一教材を使って指導を加えているのが多少問題点もあったが、複式指導の手はじめの方法として適切な方法であろう。しかし、これを土台にして同題材指導のご研究をさらにいっそう望むものである。

◎第 2分科会

じょうぶなからだの導入指導はどうすればよいか。

相馬市山上小学校 鈴木 澄男
社会科の基礎学力をつけるにはどうすればよいか。

石城郡三和村沢渡小学校 佐藤 吉男
複式学級における社会科指導上の問題点

双葉郡熊町小学校夫沢分校 大川原洋吉

◎第 3分科会

学力向上のための配慮

相馬市山上小学校中井塚分校 渡辺ひとし
山村における生活指導について

伊達郡山船生小学校 今野 博一
分校における生活指導について

双葉郡双葉北小学校寺沢分校 柄沢已知夫
これらについて、3つの分科会に別れて研究を発表し